

議員名のあとの（ ）は、会派の名称です。

質問文は、質問者本人が200文字以内で執筆した原文をそのまま掲載し、答弁は内容を要約して掲載しています。

予防医療を充実し医療費の削減を



高橋 征夫 議員（武の会）

町長 保健師による訪問指導を新たに開始した

質問 町では、長期総合計画に基づき、諸計画を作成し、町民福祉の増進を目指し、鋭意努力している。確かに、福祉施策は生活の基盤をなすものであり、安易な変更はすべきでない。しかし高齢社会を迎え、老人医療費が増加し、町に於いても今後の大きな問題点である。老人医療費増加の背景には、入院の長期化・掛け持ち治療・重複投薬等が指摘されている。この医療費増加の原因を分析し、今後、町民に対し医療費の抑制を図るための方法および施策を問う。

町長 町では、病气予防対策として、5つのがん検診をはじめ、季節性インフルエンザワクチンや高齢者肺炎球菌ワクチンなどの予防接種助成事業を実施している。また、保健事業として、生活習慣病予防のための早期介入を実施し、24年度から、高額な医療費となる腎臓病や糖尿病を予防するため、保健師による訪問指導を新たに開始した。引き続き持続性と実効力のある医療費削減策を推進していく。



訪問指導に向かう準備をしている健康課職員

建設コスト高騰による町公共工事への影響と対策を問う



小池 信一郎 議員（自民新国会）

町長 工事総額は

5%から6%の

増額が見込まれる

質問 25年度、建設事業当初予算の執行に当たっては、全国的な資材・労務費の上昇が懸念されている。その背景には、東日本大震災

被災地の復旧・復興事業の影響と、低迷が続く建設業界で技能労働者の処遇改善の機運が高まっていることが大きな要因である。そこで

を適用すると、工事総額は、約5%から6%程度の増額が見込まれる。今後、発注を予定している工事についても、新労務単価を適用する。また、既に契約した工事で、旧労務単価を適用している場合には、契約額の変更協議を行うこととなる。



道路拡幅工事（殿ヶ谷地区）

町長 コスト高の影響は、内容によって異なるが、新労務単価

の措置は異例ではあるが、影響がでないよう、予算、日程、入札の時期に注意して、工事を施工する。

水・緑と観光を繋ぐ回廊計画に、地域街並景観づくりを

尾作 武夫 議員（自民新国会）

町長 町民の方々に理解を深めていただけるよう努めていく



狭山池に設置されたモニュメント

質問 景観づくりには「地域景観を守る」

「地域に好ましくない景観を排除する」

「地域に質の高い景観を創造する」という3つの側面がある。地域街並景観は、地域の文化・経済力・民度などのレベルが分かるとされている。

そこで、回廊計画のルートである地域を街並景観地区に指定し、地域の主体性に基づき、一体的な街並景観づくりを進めるべきである。町長の所見を問う。

町長 景観づくりを積極的に進めるためには、景観計画の策定、都市計画に位置付けられる景観地区の指定、景観協定による誘導策が必要となる。それは、町民の家屋管理や事業者の経済活動に大きく影響する一面を持つことから、地域の方々の賛同と主体的な支持が欠かせない。景観行政を進めることが、個人資産の価値を高めることにつながるといふ理解を町民の方々に深めていただくよう努めていく。